

一中学生徒の最善最高の自覚と実践 NO10(R4.12.22)

○校長より 『あいさつ』の取組

「あいさつ」について、一中では「まず先生たちから生徒たちへあいさつをしていきましょう」と取組を始めました。

いろんなことに頑張ろうとする（挑戦する）とき、そこには「意欲」「元気」が必要です。「あいさつ」する（声を出す）ことによって、生徒たちに「元気」を出してほしい。そして、いろんなことに頑張る（チャレンジして）持っている可能性を発揮してほしい、そんな思い（願い）を持っています。「あいさつ」の持つ力・効果は他にも「人との関係づくり」等いろいろあります。

今、「自分からあいさつする」生徒たちが増えてきているように感じます。これが学校内だけの「あいさつ」ではなく、地域へと広がっていけば本物だと思っています。そうなるよう、職員全員で徹底して取り組んでいきたいと思っています。保護者、地域の方々も、生徒たちへの「あいさつ」の声かけをよろしくお願いいたします。

『元気は「出る」ものではなく「出す」ものです。』（校長室カレンダーの言葉より）

☆最善

『よりよい学校づくり！生徒会役員改選！！』



☆最高

『日本の伝統文化に親しむ！書写大会！！』



☆自覚

『進路実現に向けて！親子で受験学習会！！』



☆実践

『おはようございます！小中合同あいさつ運動！！』

